

議会の活動

平成30年
(2018年)7月
第161号

広報なごや 市会だより

市会だよりについて

市会だよりとは、市会の諸活動を広く周知することにより、議会への理解と関心を高めることを目的に発行しています。より分かりやすい紙面づくりを目指すため、平成22年6月号の市会だよりから、議員で構成する編集委員会を設置しました。

また、議会の活動に関する情報を市民のために積極的に公開・発信するため、平成23年度から市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしてまいりました。しかし残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められませんでしたので、平成30年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

5月臨時会特集号

5月臨時会は、5月18日から22日までの5日間にわたって開かれ、市長提出案件についての審議、正副議長の選挙、常任委員会及び特別委員会の委員選任などを行い、市会の新しい構成が決まりました。

議長に坂野公壽議員(自民)、副議長に木下優議員(公明)を選出

市民の皆様へ 正副議長就任に当たり



第93代 名古屋市長

坂野 公壽
(港区選出)



第101代 名古屋市副議長

木下 優
(中川区選出)

私たちは、このたびの5月臨時会において、第93代議長並びに第101代副議長に就任いたしました。歴史ある名古屋市の議長並びに副議長への就任は、大変光栄であると同時に、その責任、使命の重大さを痛感しております。

さて、本市においては、南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模災害への強い懸念や少子高齢化の進展など、さまざまな課題に直面しています。

一方で、2026年に名古屋市と愛知県が共同で開催するアジア競技大会といった国際的なスポーツ大会の開催や2027年に予定されているリニア中央新幹線の品川―名古屋間の開業を、本市のさらなる発展につなげていく必要があります。

名古屋市会は、こうした本市を取り巻く状況に迅速かつ的確に対応していくため、二代表制の一翼を担う議会として、市長とは相互に独立対等な立場で、緊張関係を保ちながら、大いに議論し、議会

としてのチェック機能をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。

また、名古屋市会では、これまでも名古屋市議会基本条例に基づき、市会だより、ウェブサイトや本会議・委員会のインターネット中継などを活用し、積極的に情報発信を行ってまいりましたが、市民の皆様の議会への理解と関心をより高めるため、さまざまな方法を模索しながら、これまで以上に情報発信できるよう、努力してまいりたいと考えております。

議長・副議長として、公正かつ円滑な議会運営に全力で取り組むとともに、市民の皆様身近な存在であり、多様な意見を反映することができる議会のさらなる充実・強化が図られるよう尽力してまいり所存です。

市民の皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を心からお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

「なごや 子ども市会」を開催します

名古屋市会では、子どもたちが住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めてもらうため、市内に在住・在学する小学5・6年生を対象に、「なごや 子ども市会」を開催します。「なごや 子ども市会」では、子ども同士の話し合いや岩手県陸前高田市の子どもたちとの交流を通じ、お互いを思いやる心をより一層育む機会を設けます。

メインテーマ

大好きな名古屋を笑顔が
あふれるまちにしよう
～ 届け、わたしたちの思い～

内 容

- 子ども議員が、委員会(グループ)ごとに分かれて、現場視察や事前の話し合いをもとに、本会議でテーマごとに意見を発表します。
- 陸前高田市の子どもたちへメッセージを送ります。

日 時

本会議 平成30年8月4日(土) 午後1時開会

「なごや 子ども市会」の傍聴は子ども議員の関係者等のみとなっていますが、8月4日(土)の本会議はインターネット中継を行います。ぜひご視聴ください。

お問い合わせ先 名古屋市会事務局総務課 TEL 972-2083

エピソード ～ 子ども市会と「ぞう列車」～

名古屋市では戦後間もない昭和20年代前半に子ども議会が開催されていました。絵本にもなった有名な「ぞう列車」を走らせたのは、その当時の子ども議会の要請でした。東山動物園に戦後生き残った2頭の象を東京の「台東区の子ども議会」の代表が名古屋市に借りに来ました。しかし、2頭の象を東京まで移動させることができませんでした。その代わりに、全国の子どもたちが東山動物園の象を見られるよう「ぞう列車」を走らせることになったのです。



「なごや 子ども市会」の開催に当たり、 子ども議員のメッセージを送る陸前 高田市に議長が訪問しました

6月6日から7日にかけて坂野公壽議長が陸前高田市を訪問し、伊藤明彦市議会議員、戸羽太市長と面会しました。



坂野公壽議長は、両市の子どもたちとの交流を深めるため、子ども議員一人ひとりのメッセージをお届けしたいと伝えました。

左: 坂野公壽
名古屋市長
右: 伊藤明彦
陸前高田市議会議員

